

大問一 問(一)

基準 配点… 1点×5

■模範解答 ※解答例通り(漢字書き取り問題)

- (1) 包摂
- (2) 癒
- (3) 干渉
- (4) 崇拜
- (5) 賭

大問一 問(二)

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 15点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A
自他の関係において、

B
特別な魅力ではなく、

C
時間的かつ空間的な共在関係性によって、

D
互いの存在そのものが認められるということ。(58字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…六十字以内 二十九字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 自他の関係において…4点

- ・「関係性」を、自己と他者の関係性として説明していないものは、要素A加点数なし
- ※「家族・友人・恋人との二者関係」など、具体的な場合は△2点。「自他・二者関係」以外は不可。

■要素B 特別な魅力ではなく…3点

- ・「特別な個性、能力、才能」によるものではないことを説明していないものは、要素B加点数なし。「特別な」はなくても可。

■要素C 時間的かつ空間的な共在関係性によって…4点

・「時間的共在関係」と「空間的共在関係」について説明していないものは、要素C加
点なし(2点)

・同意例:「時間的共在関係と、共に世界に在る関係によって」(2点)

■要素D 互いの存在そのものが認められるということ:4点

・「充足」を、互いの存在の承認として説明していないものは、要素D加
点なし

大問一 問(二)

形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

人間関係の中で得られた自由が

B

もたらす幸福感が

C

すべてではないことを示すということ。 (40字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…四十字以内 十九字以下のもは全体不可 (0点)

■要素A 人間関係の中で得られた自由が…4点

- ・通常の「自由」は、人間関係の中で得られるものであるということの説明がないものは、要素A加点数なし

※人間関係を他者との関係としているものは二点減点。

■要素B もたらす幸福感が…4点

- ・「自由」によって「幸福感」が得られることの説明がないものは、要素B加点数なし

■要素C すべてではないことを示すということ…4点

- ・「相対化」の言い換えができていないものは、要素C加点数なし

大問一 問四

形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

自らが推している対象が発した言葉を、

B

自分なりに判断し理解して、

C

理論化すること。(39字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…四十字以内 十九字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 自らが推している対象が発した言葉を…4点

・「推しの言葉」についての説明をしていないものは、要素A加点数なし

■要素B 自分なりに判断し理解して…4点

・「解釈」についての説明をしていないものは、要素B加点数なし

■要素C 理論化すること…4点

・「解釈学」についての説明として「理論化」ということに触れていないものは、要素C加点数なし

・同意例…「体系化すること」

※「殊勝」「けなげ」「感心」を母をかばおうとする等としている者は2点減点

大問一 問(五)

形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可。
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 16点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A
自分の「推し」のみが幸福の対象であり、

B
生の意味の全体となっていて、

C
その外部に生じる幸福の可能性は

D
すべて無意味なものとして放棄されているということ。(73字) 16点

■採点方法…各要素単独採点

■字数…七十五字以内 三十七字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 自分の「推し」のみが幸福の対象であり…4点
・「幸福の対象」が自分の「推し」だけであることを説明していないものは、要素A加
点なし

■要素B 生の意味の全体となっていて…4点
・「推し」が生のものであることを説明していないものは、要素B加
点なし
・同意例「全存在を賭して」

■要素C その外部に生じる幸福の可能性は…4点

・「それ以外の対象」について説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D すべて無意味なものとして放棄されているということ…4点

・要素Cには「無関心」であるということを説明していないものは、要素C加点数なし

大問二 問(一)

基準 配点… 2点×3

■模範解答 ※解答例通り(辞書の意味に当てはまればよい)

- (1) に見つけて。激しくにらみ。
- (2) 自信に満ちて。意気盛んに。
- (3) 出費。

大問二 問(二)

■形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 11点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

体操教師にからかいの口調で呼ばれ、

B

周囲からも笑われたことで、

C

恥ずかしさに耐えられないと思う心情。(48字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…五十文字以内 二十四字以下のは全体不可(0点)

■要素A 体操教師にからかいの口調で呼ばれ…4点

- ・「その帽子は」は体操教師のからかいの口調であったことを説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B 周囲からも笑われたことで…3点

- ・要素Aの言葉で周囲から笑い声が起こったということを説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C 恥ずかしさに耐えられないと思う心情…4点

- ・「顔から火が出るような気持」であることを説明していないものは、要素C加点数なし

大問二 問(三)

■形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 11点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

家計の事情から母は普段から儉約に努めていたので、

B

その母の考えに出来るなら添いたい

C

という殊勝な思い。(49字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…五十文字以内 二十四字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 家計の事情から母は普段から儉約に努めていたので…3点

- ・母の儉約ぶりについて説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B その母の考えに出来るなら添いたい…4点

- ・要素Aの母のあり方に添おうとする「私」の意向について説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C という殊勝な思い…4点

- ・要素AとBを受けての「私」の心情を端的に表した「殊勝」「けなげ」「感心」ということを示していないものは、要素C加点数なし

大問二 問(四)

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 16点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

自分の不注意で帽子を買い替えることになったのに、

B

それがぴったりであったので、

C

また買い替えて母に金銭的な負担をかけることになる

D

という不安を覚えたから。(74字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…七十五字以内 三十七字以下のものは全体不可(0点)

■要素A **自分の不注意で帽子を買い替えることになったのに…4点**

- ・帽子を買い直すことが「私」の不注意によるものであることを説明していないものは、要素A加点なし

■要素B **それがぴったりであったので…4点**

- ・買い直した帽子が「ぴったり」だったことを説明していないものは、要素B加点なし

■要素C **また買い替えて母に金銭的な負担をかけることになる…4点**

・要素Bであるために、また買い替える必要があることを説明していないものは、要素C 加点なし

■要素D という不安を覚えたから..4点

・傍線部の状態は「不安」を感じたことによっていることを説明していないものは、要素C 加点なし

大問二 問五

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 16点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A
大きな帽子を

B
選ぶ母の儉約ぶりを好ましく感じていたところに、

C
帽子が頭に合うようになり、

D
かぶり方も変わっていったから。(57字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…六十字以内 二十九字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 大きな帽子を選ぶ…4点

- ・「気にならなくなった」ものが「大きな帽子」であることについての説明がないものは、要素A加点数なし

■要素B 母の儉約ぶりを好ましく感じていたところに…4点

- ・「大きな帽子」と母の儉約とのつながり、その母の儉約ぶりを「私」が好ましく感じていたということを説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C 帽子が頭に合うようになり…4点

- ・帽子が頭に合うようになったということを説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D かぶり方も変わっていったから…4点

- ・帽子のかぶり方が変わったということを説明していないものは、要素D加点数なし

三（琴後集）

問(一) 配点…各4点

■現代語訳の問題

■模範解答 *各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

■採点方法…各要素単独採点

■字数制限無し

■形式上の不備 ・文末表現・句読点は不問

(1) a 由緒のある人とb自然と目がとまったが

■要素a 由緒のある人…1点

・他の正答例…いわくありげな人・奥ゆかしい人・わけありげな人・風情がある人

■要素b 自然と目がとまったが…3点

・自発…自然とくする…される ①点

・目がとまる…目が行く・見る・注目する など ①点

・過去＋接続（順接または単純接続）…くたので・た・から・たが・たところ ①点

■その他…真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

(2) a 返歌をbしないのもc興ざめだろう

■要素a 返歌を…1点

・返歌をする・返事する・歌を返す など。

■要素b しないのも…1点

・打消

■要素c 興ざめだろう…2点

・「さすまじ」同意例…風情がない・おもしろくない・しらける・無風流だ など
・推量…だろう・にちがいない・はずだ など

■その他…真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問(二)

配点…8点

理由説明の問題

採点方法…各要素単独採点

字数制限 **四十五字** 以上は採点対象外

形式上の不備 ・文末表現要素e参照「くから・ため・ので」 ・句読点は不問

模範解答 *各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

a 先日奈良坂で行きあったb 由緒ありそうな人たちと、c 思いがけずd 初瀬詣で同じ宿になったe から。

■要素a **先日奈良坂で行きあった…2点**

・前に奈良坂で会った一行であることがわかれば可。

■要素b **由緒ありそうな人たちと…2点**

・一行の様子を描写すること。①点

・「目立たないようにした網代車に、格別に卯の花をたくさんおり取って飾り付けてあるのを由緒ある人と自然に眼がとまった」と本文にあるので、「由緒ありそうな人」の他、「お忍びの体裁であった人」「風情ある網代車に乗っていた人」などの形容であっても可。

・人たち・女性たち のみは①点

■要素c **思いがけず…1点**

・同意例…偶然・不意に・突然・思いがけなく

■要素d **初瀬詣で同じ宿になった…2点**

・今回の「初瀬詣」(①点)で、「同宿になった」(①点)ことが分かれば可。

■要素e **から…1点**

・「くから・ため・ので」など。

■その他…真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問(三)

配点…8点

■ 内容説明の問題

■ 採点方法…各要素単独採点

■ 字数制限 **六十字** 以上は採点対象外

■ 形式上の不備 ・文末表現は要素d参照 ・句読点は不問

■ 模範解答 *各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

a 偶然行きあったかわいらしい様子の女性たちが、b 美しい月を見ながらc ホトトギスの
鳴く声を聞いて歌を詠み合っているd時。

■ 要素 a **偶然行きあったかわいらしい様子の女性たちが…2点**

・「女性たちの一行」であることがわかれば可。②点

・「かわいらしい」「偶然会った」「祓の準備をしている」などの説明があっても可。なくとも可。

■ 要素 b **美しい月を見ながら…2点**

・月見をしていることがわかれば可

■ 要素 c **ホトトギスの鳴く声を聞いて歌を詠み合っている…3点**

・ホトトギスの①点 歌を詠み合っている(付け句をしている)②点。

・要素Cの代わりに、初瀬の歌の名所(二本の杉・うれしき瀬)について会話していることが書かれている場合は、②点とする。

↓歌を詠みかけようと思いきっかけとして、歌を詠み合っている方が直接のきっかけになるが、歌に関する会話をしていることも無関係ではないので。

■ 要素 d **時…1点**

・「時・折」などを文末にすること。

■ その他…真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問(四)

配点…10点

■ 内容説明の問題

■ 採点方法…各要素単独採点

■ 字数制限 **六十字以内** 以上は採点対象外

■ 形式上の不備 ・「誰」の「どのような」言動、という形式であること ・句読点は不問

■ 模範解答 *各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

a 女たちの、b 垣間見していた男に歌を詠みかけられても、c それほど恥ずかしくらずに受け取り、d 香を焚きしめた紙で返歌をした e 言動。

■要素 a 女たちの…2点

- ・「女・女性たち」。「偶然行きあった」「同宿の」などの形容はなくて可。①点
- ・「の」 解答形式が「誰の」なので、「の」があること。①点

■要素 b 垣間見していた男に歌を詠みかけられても…3点

- ・「男」①点 ・「垣間見されていた」①点 ・「歌をよこした」①点 の三要素。

■要素 c それほど恥ずかしくらずに受け取り…2点

- ・「恥ずかしくない」①点 ・歌(手紙)を受け取る①点

■要素 d 香を焚きしめた紙で返歌をした…2点

- ・香を焚きしめた紙を使っていること①点 ・「返歌をした」①点。

■要素 e 言動…1点

- ・解答形式なので、「言動」以外は×。

■その他…真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問(五) 配点…6点

■心情説明の問題

■採点方法…各要素単独採点

■字数制限 四十字以内 以上は採点対象外

■形式上の不備 ・文末表現「〜心情・気持ち」など心情を表す表現 ・句読点は不問

■模範解答 *各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

a もう一度女性たちの風流な会話を聞きたいと思うのも、b 無理な話だと残念がる c 気持ち。

■要素 a もう一度女性たちの風流な会話を聞きたいと思うのも…3点

- ・「もう一度・再び」①点 ・女性たちの声(会話)が①点 ・聞きたい①点

■要素 b 無理な話だと残念がる…2点

- ・無理だ・無茶だ・強引だと思う②点

・残念・くやしい・無念・未練が残るなどは不問とする

■要素C 気持ち…1点

■その他…真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問、文のつながりも多少の不具合は可とする。

四 漢文 四十点

問一

各2点×2＝計4点

- (1) すなわち／すなはち
(2) ここにおいて

▼現代仮名づかいでも、歴史的仮名づかいでも、どちらも可。
▼(2)「ここにおひて」は不可。

各6点×2＝計12点

(A) こういりて／ともに／これをはからん

●以下のように、三分割して採点します。

- ① こういりて／こふいりて 2点
② ともに 2点
③ これをはらかん 2点

▼①↓②↓③の順序になっていない場合は全体として加点なし。
▼句点「。」の有無は不問。
▼現代仮名づかいでも、歴史的仮名づかいでも、どちらも可。
※①は「こういり」も可。
※②は「与」を「ともに」と読めていれば2点。

(B) かなる／か

●以下のように、二分割して採点します。

- ① かなる／かならん 3点
② なるか／ならんか 3点

▼①↓②の順序になっていない場合は全体として加点なし。
▼句点「。」の有無は不問。

※①「可」を「かなり」と読めていれば3点。「かなる」でも「かならん」でも可。

※②「乎」を疑問「連体形+か」で解釈できていれば3点。また「未然形+んか」でも可。

▽反語「未然形+んや」は不可。

▽「かか」のように、「乎」を「か」と読んでいるだけでは不可。

↓「べきか」「かするか」であれば、「連体形+か」なので3点。

↓「べけんか」「べからんか」「かせんか」も、「未然形+んか」なので3点。

問三

6点

あなたは靴を編んで／生計を立て

●以下のように、二分割して採点します。

- | | |
|-------------|----|
| ① あなたは靴を編んで | 3点 |
| ② 生計を立て | 3点 |

▼①↓②の順序になっていない場合は全体として加点なし。

▼読点「、」の有無は不問。

※①の加点条件

(1)「夫子」を「あなた」「貴方」など、妻が夫を敬って呼ぶ言葉と解釈し、

(2)「編靴」を「靴を編んで」「草鞋を作って」「草履を結って」などと解釈している。

▼「履」のままは2点減点。

※②「為食」を「生計を立てる」「生活する」「食費を得る」「食い扶持を稼ぐ」「口を糊する」「糊口をしのぐ」などと解釈できていれば3点。

▼「食べている」も「生活している」と受け取れるなら可。

▼「食事をしている」などは不可。

問四

8点

貧しくとも十分心豊かな生活を送れているということ。

● 以下のように、二分割して採点します。

- | | |
|------------------------|----|
| ① 貧しくとも | 2点 |
| ② 十分心豊かな生活を送れているということ。 | 6点 |

※①・②の順序は不問。

※①は「貧しくとも」「質素な生活でも」「つつましくとも」「つましい暮らしの中でも」「苦しい生活の中にあっても」など、「現在は金銭的に貧しい生活／富貴とは無縁な生活を送っている」ことに触れていれば2点。

※②は「十分心豊かな生活を送れている」「精神的には満足できる生活」「心は満たされている」など、「物質的・金銭的・世俗的には貧しくても」精神的・内面的には豊かで心満たされた高雅な生活ができていることを説明できていれば6点。

問五

10点

於陵の妻が夫に、／些細な贅沢と引き換えに、／乱世に仕官して身の安全を脅かされるよりも、／貧しくても平和な今の生活を守るべきだと勧めたこと。

● 以下のように、四分割して採点します。

- | | |
|-----------------------------|----|
| ① 於陵の妻が夫に、 | 2点 |
| ② 些細な贅沢と引き換えに、 | 2点 |
| ③ 乱世に仕官して身の安全を脅かされるよりも、 | 3点 |
| ④ 貧しくても平和な今の生活を守るべきだと勧めたこと。 | 3点 |

※①・②・③・④の順序は不問。

※①の要素がない場合は2点減点。

※②の要素がない場合は2点減点。